

## 令和6年度 公開講座（短期課程）

コース名	DX を実現するための生産改善セミナー（1）品質管理の基礎	
担当科名	機械システム系メカトロニクス科	
講師	山口俊憲	
実施日時	①	令和6年5月15日（水） 18:00～21:00
	②	令和6年5月22日（水） 18:00～21:00
	③	令和6年5月29日（水） 18:00～21:00
	④	令和6年6月 5日（水） 18:00～21:00
	⑤	令和6年6月12日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（最大10名程度）（最少実施人数2人）	
募集対象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）	
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて <b>基礎から実施</b> ）	
目標	品質管理の基本的な考え方を理解し、それに基づく管理手法を現場で活用できる。	
講座内容	<p>生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性の向上を図る必要があります。品質向上に取り組むためには、現場から管理者まで関わる<b>全ての人</b>が<b>品質管理の考え方</b>を知り、それに基づいて活用できることが必要です。</p> <p>本講座では、<b>現場で使える</b>ことを目的に教科書に書かれている内容「品質管理の考え方、データの取り方と見方、QC七つ道具、新QC七つ道具など」について<b>基礎から</b>ご説明いたします。また、受講生が希望されれば、現場で発生している品質や品質管理上の課題への対処方法について具体的な検討も行います。</p>	
他のコースとの関連性	「DX を実現するための生産改善セミナー」の品質管理と生産管理の2つを受講することで、機械システム系の生産工学への出席を免除する。但し、試験やレポートの提出を求める場合がある。この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「品質管理」などに関する講義・実習の受講を一部免除する。	
履修項目	①品質管理の視点から生産とは何かを考える	（2時間）
	②品質検査、品質管理、品質保証の違い	（2時間）
	③データのとり方・見方、平均とバラツキ、平均値の検定	（4時間）
	④QC七つ道具（層別、ヒストグラム、管理図）	（3時間）
	⑤新QC七つ道具を用いて要素間のつながりを探る	（2時間）
	⑥現場での活用方法（事例紹介・検討）	（2時間）
使用装置ソフト・図書等		
必要な持ち物	筆記用具	
受講費用	受講料：6,900円（15時間コース）	
	自己負担：なし	
留意事項等	6つの講座からなる「DX を実現するための生産改善セミナー」は地域企業を中心に現場改善に取り組む一人の <b>教員</b> が全て担当しています。全て受講いただくと生産改善に必要な内容を網羅することができますが、それぞれ独立していますので <b>講座一つでも受講可能</b> です。	

	<p>一つだけ受講される方、複数講座を受講される方、様々いらっしゃいます。</p>
--	---